



Value Book

挑
戰

前
進

創
造

Aiming to be the ultimate "Mapster"

内外地図株式会社
Naigai Map Production

我々は、「挑戦・前進・創造」を社是に掲げ、地理空間情報と共に未来を描く「新たな地図」を創造することで、より豊かな社会づくりに貢献する事を決意し、ここに社員が、目標に向かい成長し、希望と未来が描ける会社を実現すると共に、全てのステークホルダから信頼され、愛される会社となることを宣言し、このバリューブックを策定しました。

時代ごとの人々の様々な願いを叶えるために、遥か昔から地図は使われ続けています。

- 安全で安心できる社会を作りたい
- 天候が穏やかで実り豊かなところで暮らしたい
- この地域をより快適にしたい
- 多くの人と繋がり幸せな社会を作りたい

地図は、大地や特定のエリアを点・線・面に記号化して、利用目的に応じて地名、数値（標高）、行政界などの目には見えない情報も記載した、目的を叶えるための最適化されたコミュニケーションツールと言えます。

地図を使えば、目的地への移動が容易となるだけでなく、知らない場所の過去の様子も、今の状況や将来の想像も可能となります。

今日のIT環境下では、地図に纏わる技術は日進月歩であって、人々の願いも多種多様となっています。

我々は、そういった「新たな願い」を叶えるため、現在だけでなく未来の方にも必要とされる「新たな地図」を提供する、全てのステークホルダにとってOne and Only(唯一無二)な存在となることを目指します。

ロゴコンセプト	
緑の意味	当社のイメージカラー 「木々は、自分たちが何者であるかなどと考えたりはしない。自分の限界を決めつけたりもしない。根をはり、光を求め、成長してゆくだけ」（アレックス・ロピラ）
コアの意味	地球（の核） 物事を深く掘り下げ探求する姿勢を表現しています
図形の意味	地球の大海原と大空（宇宙）をイメージしており、 青いNで包みこむことで「包容力」「安全性」「信頼感」をシンボライズしています

内外地図株式会社
代表取締役社長 田中 雅弘

プロとしての自覚

私たちは、自身の役割を自覚し、プロフェッショナルとして期待されている水準に到達するのはもちろんのこと、期待を超えていきます。高い目標を掲げて、達成するために日々を言行一致で取り組み続けます。そうあることが、私たちが社会から必要とされ、お客様から信用、信頼され続けるために、最も大切な事だと思っているからです。

そのために、知識・見識・技術を高め続けます。常に考え模索して、情熱をもって、積極的に行動することで、プロフェッショナルとして自身が持つ可能性を最大限に引き出します。

私たちは、人々の期待に応えていきます。お客様、ビジネスパートナーを尊重し、強固な信頼関係を築いていきます。

Action & Stance

① 高い目標を掲げる

- ・ 会社の目指すものを理解しましょう。会社が目指すものを実現するための課題を解決することが、自分自身の目標になります。
- ・ お客様や会社から期待されていることを知りましょう。期待にこたえるには期待されていることを知ることが大切です。そして、相手自身も気づいていないニーズがあることもあります。本当に実現したいと考えていることを知りましょう。その上で、「どうやったら期待にこたえることができるだろうか?」と考え、高い目標を設定しましょう。
- ・ 目標設定する際には、その目標はなぜ? なんのため? に達成するのかという「目的」を明確にしましょう。そして、何をもって目標達成と言えるのかという「成果」を具体的に定義しましょう。「目的」や「成果」が明確になることでそれを達成するためにやるべきことが考えられます。もし「目的」や「成果」が分からない時は、周囲に確認しましょう。

② 言行一致で取り組む

- ・約束事は守りましょう。約束事を守るのは、社会人としての当たり前のことです。会社の規則、仕事の期限など、ルールを守る意識こそプロとしての本質です。
- ・あるべき姿に対する現状を把握し、差を埋める具体的な行動を考え取り組みましょう。あるべき姿を実現するために諦めずに行動し続けることが、言行一致につながります。

③ 自身が持つ可能性を引き出す

- ・現状から先を見越して事前に知識や技術の習得に励みましょう。自身の可能性を広げるチャンスになります。
- ・仕事に関連する様々な情報を収集したり、様々な経験をしましょう。深い知識や経験、幅広い情報は、お客様を納得させるような意見・結論を導き出す判断力の習得につながります。
- ・成長に対する執着心を持ちましょう。成功であれ、失敗であれ1つの結果は、次のゴールへのスタート地点です。「お客様とともに納品した成果品をさらに発展させていこう」、「次はこうしよう」、「もっと成長したい」など成長の余地はまだまだあると考え模索し向上し続けるのがプロとしての姿勢です。
- ・運動や休養、精神的なりフレッシュ、知性を磨く、人と関わるなどを行って自身を再生し続けましょう。身体が健康が保たれ、知性が磨かれ、精神的にも安定して、周囲との人間関係もしっかりと維持されていることが自身が持つ力を最大限に引き出す土台となります。

共に進む

私たちは、生き活きと働き、目的や目標を達成することを目指して前進し続けます。

会社の仕事は、様々な人との関わりや多くの人の支えがあって成り立つもので、一人でできることではありません。

共に進むということは、自分自身の能力や知識を知った上で相手と向き合い、考え方や意見を互いに理解し合うところから始まります。自分の勝手ではなく、相手の意見を鵜呑みにするでもなく、相互理解のもとに、一人では出せない結果を生み出していくことです。

働く中では良い時も苦しい時もあります。相互理解を深め、共に働く仲間を大切にすることで、立ち止まりそうになった時、仲間からの協力は、先を照らす光にも、背中を押してくれる力にもなるでしょう。協力することは、皆が生き活きと働くこと、目的や目標の達成へとつながっているのです。

Action & Stance

① 向き合う

- ・今の自分が周囲から、どんなふうに見えるのかを知りましょう。自己評価と他者評価は異なります。家族や友人、同僚や上司、部下からの評価を活かして、成長につなげましょう。
- ・周囲の人に対して興味を持ちましょう。その人のことや、取組んでいる仕事のこと等を「知ろう」という意識を持ち、積極的に関わり、理解を深め、周囲の人に自分をより理解してもらえるように自己開示し、お互いの想いや感情を伝え合うことで相互理解が進みます。
- ・課題には楽しみながら取り組みましょう。課題は、自分自身が成長できるチャンスだからです。

② 支え合う

- ・まずは、自分に求められている役割・責任を果たすために、全力を尽くしましょう。その上で、報告・連絡・相談を行いながら仕事を進めていけば、一人では解決できない課題にぶつかった時、周囲の人もサポートしてくれます。

誰が、何を、いつまでにするのかを情報共有しあった上で、仕事に取りかかる。

指示されたことについて、不明点やあいまいなことがあった場合、一人で抱え込まず、質問したり自分の理解したことがあっているか確認する。

- ・チームとして仕事をしていると意識しましょう。チームの目的や目標を達成するために、自分の作業以外でも自分ができることを探し、協力していきましょう。仕事は自分の作業だけで完結することはありません。必ず仲間の手が入るからです。

③ 分かち合う

- ・笑顔で挨拶しましょう。仕事をしている仲間と積極的に声を掛けあい、前向きに仕事に取り組める雰囲気をつくるのが大切です。
- ・仕事を通じて得られる達成感や充実感、仲間と一緒に何かを成し遂げる喜びを分かち合いましょう。

お客様第一

私たちは、ものを売ったり作ったりすることを生業としています。お客様あつての商売です。もしお客様に必要とされなくなったらどうなるでしょうか？当然会社は存続できなくなります。

私たちはお客様の要望を叶えます。

言われたことをただ行うのではなくお客様の立場に立ってものを考え、お客様が必要としていることについてその目的を含め深く理解しようと努めます。

そして、私たちはお客様と継続的な関係性を築きます。

一度きりのお付き合いではなく関係を継続することによりお互いの理解が深まり、仕事の質が向上していきます。そしてそれは会社の評判が広まることや新しいお客様の獲得へとつながり、会社を取り巻く世界を押し広げる力となります。

お客様と私たちは共に成長し、繁栄していくのです。お客様を思いやる気持ちを大切にしていきます。

Action & Stance

① お客様を知る

- ・お客様の事業内容、取り巻く環境に興味を持ち、お客様をよく知りましょう。お客様を知ることは、なぜこの仕事が生まれてきたのかを知る手掛かりとなります。仕事が生まれた経緯を理解することで、仕事の目的がより明確になります。我々がお客様の目的を正しく理解することは、仕事を進めていく上で最も大切な過程の一つです。

② 迅速な対応

- ・お客様へのレスポンスはすぐに返しましょう。お客様の問いかけに対して、すぐに答えられない場合は、一旦受け取ったことを伝えます。自分は早く答えを出そうと調べたり聞いたりしているつもりでも、その動きはお客様からは見えないからです。
- ・お客様の要望そのものに答えられない場合でも、すぐに断るのはやめましょう。代替案を提案するなど、お客様の求めるものを実現できる方法を考え提案することで、お客様の満足度の向上につながります。

③ 確実な仕事

- ・常に自分の理解が正しいかをお客様に確認しましょう。お客様の求めている内容や、その背景、目的を正しく理解した上で、お客様の要望を確実に叶えることが求められています。
- ・一度理解できたとしても、お客様の要望は、時間の経過や環境の変化とともに変わることがあります。継続してコミュニケーションをとり、正しく理解し続けましょう。確実性を常に追求し続けることが大きな信頼へとつながります。
- ・お客様の根本的な課題解決ができる解決策を提案しましょう。解決策を考える時には、過去の事例や経験に照らし合わせて考えるだけでなく、新しい知識や手法を積極的に収集し、多方面から考察します。お客様の要望にただ応じるのではなく、お客様のため、そしてより良いモノづくりとサービスのための解決策を考え、伝えることが大切です。

④ 仕事は継続する

- ・お客様が何を望み、何を大切にしているかを常に考えましょう。お客様と継続的な関係を作る上で最も大切なことは思いやりです。
- ・納品してからがスタートと考えましょう。お客様の状況やお客様を取り巻く環境は常に変化します。お客様とともに、仕事を育てていく気持ちを持って、お客様と定期的に連絡を取り合い、お客様が安心できる環境を整えることを忘れずにいれば関係は継続していきます。

技術力

私たちはこれからも業界をリードしていきます。そしてそれには技術力が不可欠です。私たちが大切にする技術力とは、単なる技能習得で得られるものではなく、備えておくべき能力のことです。

既存の業務を拡大したり新しいものを生み出したりするにはチャレンジ精神が必要となりますが、その源となるのは専門家としての自負であったり逞しい想像力であったりします。しかし、それらを下支えする能力がなければ単に張りぼての要塞を作っているに過ぎず、それはいずれ崩壊してしまうことでしょう。技術をしっかりと身に着け、それを基礎に据えることで、初めて様々な方面にチャレンジすることができるのです。

備えておくべき能力とは、以下のようなものです。

- ・ 経験や知識を元に新しいものを生み出す能力。
- ・ 扱うものに関する知識、方法や手段に関する知識、仕組みに関する知識などを習得、蓄積する能力。
- ・ 作業のコストや時間を低減する能力。

それぞれを備えることによって、品質の向上、利益率の向上、競争における優位性の確保、顧客ニーズの発見といった多くのメリットを手にすることができるのです。

Action & Stance

① 知ろうとする

- ・ 地図、測量、科学技術はもちろん、社会情勢、経済など世の中のありとあらゆる情報に触れましょう。
- ・ 事柄の関連性を意識しながら情報に触れるようにしましょう。世の中の事柄はすべて関連があり、体系的に知ることにより理解が深まります。
- ・ 大切なことについては基礎的なところまで調べるようにしましょう。深い知識は考えるための糧となります。
- ・ 経緯や歴史まで把握しましょう。なぜそうなったのか、なぜそうしないといけなかったのか。表面的に見えるものではなく、その裏側にある問題までわかることが「理解する」ということです。
- ・ 仕組みや決まり事を把握しましょう。構造を把握することで全体を理解することができます。
- ・ 常に最新の情報を手に入れましょう。世の中の変化を見据えた行動が求められます。

② とにかく考える

- ・論理的に考えましょう。ひらめきも大切ですが、正しい判断をするには筋の通った理屈が必要です。
- ・構造的に考えましょう。全体像から考え始めて、徐々に分解していく流れが基本です。
- ・可能性を意識しましょう。1つの答えを求めるのではなく、何十何百通りの道が見えている中からよりよい道を選び出すことが大切です。
- ・科学的に考えましょう。事実を客観的に認識することや、事実について再現性や因果関係を確認することが大切です。
- ・疑問を持ちましょう。どんなことに対しても「なぜ？」と考えることが、あらゆることの理解へとつながります。
- ・定量的に評価しましょう。自分の尺度ではなく、世の中に共通する物差しで評価した結果は誰もが理解できるものになります。
- ・適切な言葉を使いましょう。考えるときには正しい言葉使いと用語が必要不可欠です。

③ 資格を取る

- ・仕事に関係する資格を取りましょう。専門的な知識や考え方を手に入れるには資格取得のための勉強が近道です。

④ 謙虚かつ積極的になる

- ・自分は本当のことは知らない、わかっていないという意識で情報に触れましょう。どんなことでも実際は知らないことばかりです。わかっていると思うことが結果自分の成長を妨げます。
- ・どんなことにも関心を持ちましょう。視野を広く保つことが正しい判断につながります。
- ・どんなことでも前向きに行動しましょう。行動することで経験を積むことができ、その経験が知識を補い、それが自信へとつながります。

⑤ 品質とコストを意識する

- ・自分が生み出すものの品質を客観的に認識しましょう。自分の現状を把握することが、より良い仕事をする第一歩です。
- ・成果のあるべき姿（最高の状態）をイメージしましょう。理想と現実のギャップを常に把握することが大切です。
- ・時間＝コストであると認識しましょう。与えられた時間は有限です。
- ・スケジュールを意識しましょう。与えられた時間を無駄なく使うことが大切です。
- ・1つ1つの作業を単純化して無理や無駄のない仕事にしましょう。単純化することで品質の安定化とコストの低減を図りやすくなります。



内外地图株式会社
NaigaiMapProduction